

第 1925 回例会報告

令和 8 年 9 月 3 日(木)雨



◇会長告知◇

会長 宮澤孝良

皆さん、こんにちは。前回の例会では、会員の皆さんと一緒に、諏訪湖博物館を見学させていただきました。実際に館内を拝見しま

すと、私たちの町には、歴史や文化、そして諏訪湖に関する貴重な資料がたくさんあることを改めて感じました。一方で、博物館を取り巻く環境は厳しく、来館者の減少という課題もあります。そこで、この博物館を単に昔のものを展示する場所ではなく、子どもたちが地域を知り、諏訪湖を学ぶ場所として、もっと活用できないだろうかと考えました。そのヒントを長崎会員からいただきました。諏訪湖クラブが発行した「諏訪湖読本」の活用です。この本には、諏訪湖の成り立ちや自然、生き物、水環境、そして人と諏訪湖との関わりなど、私たちが身近な諏訪湖について改めて学ぶことのできる内容がまとめられています。例えば、漁業協同組合の皆さんには漁業や魚について、臨湖試験場には水質や生態系について、そして諏訪湖クラブの皆さんには、長年にわたる諏訪湖の調査や環境活動についてご協力をいただく。そうした専門的な知識や資料を博物館の展示に生かすことができれば、「諏訪湖を見て、知って、考えることのできる学習の場」になるのではないのでしょうか。特に、子どもたちが実際に諏訪湖を見て、魚や水草、水質について学び、「自分たちの住んでいる地域には、こんな素晴らしい自然があるんだ」と感じてもらえることは、とても大切なことだと思います。これは、博物館の活性化というだけでなく、下諏訪の子どもたちに地域への愛着を持ってもらうための取り組みにもなると思います。ロータリーとしても、すぐに大きなことをするというより、まずはこうしたアイデアを町に提案し、関係する皆さんと一緒に考えていければと思っています。「昔のものをみる博物館」から、「地域の未来を担う子どもたちが、地域を学ぶ博物館」へ。そんな活用の仕方ができないか、これから皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。さて、本日は、ガバナー補佐の山田文雄(やまだ ふみお)様、そして玉本地区幹事にご来訪いただき、心より御礼申し上げます。ご多用の中、私ども諏訪湖ロータリークラブのためにお時間をおつくりいただきましたこと、大変ありがたく、会員を代表して厚く御礼申し上げます。ガバナー補佐には、2600 地区と各クラブをつなぐ大切な役割を担っていただいております。それぞれのクラブを訪

問され、活動の状況をご覧になりながら、時には励ましていただき、時には貴重なご助言をいただく。クラブにとりまして、こうして直接お話を伺い、ご指導いただける機会は、大変貴重なものだと感じております。本日は、ぜひ私どものクラブの良いところだけでなく、「ここはもう少し頑張った方がよい」というところについても、忌憚のないご意見をいただければと思っています。さて、今年度、私が会長として心掛けておりますのは、まず会員同士が多様性を認め合い、お互いを尊重し、楽しく、そして気持ちよく活動できるクラブであることです。ロータリーは奉仕の理念を大切にする団体ですが、その活動を長く続けていくためには、会員同士の信頼関係や親睦も欠かすことができません。「このクラブに入っていて良かった」と会員の皆さんに思ってもらえるようなクラブをつくり、その力を地域社会への奉仕につなげていきたいと考えております。また、時代とともにロータリーを取り巻く環境も変化しております。会員増強をはじめ、若い世代との接点づくり、地域との関わり方など、私たちのクラブにも考えていかなければならない課題がございます。そうした中で、本日山田ガバナー補佐からいただくお話は、私たちにとって大きな気づきや刺激になるものと思っています。ぜひ本日は、ガバナー補佐の豊富なご経験から、ロータリーの現状や地区の方針、そしてこれから私たちクラブがどのような方向を目指していけばよいのか、いろいろとお聞かせいただければ幸いです。そして、今日のお話を一過性のものにするのではなく、今後のクラブ運営にしっかりと生かしてまいりたいと思います。最後になりますが、山田ガバナー補佐におかれましては、これからも私どものクラブに対しまして、温かいご指導、そして時には厳しいご助言を賜りますよう、お願い申し上げます。会員一同、楽しみに拝聴させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

◇誕生祝◇

宮坂英喜会員「53歳になりました。足が痛かったり目が見えなくなったりで、お酒の量もだいぶ減らし、ゴルフを結構やるようにして、これからも頑張りたいと思います。」
欠席された太田淳也会員、宮坂健会員、松浦志保会員もおめでとうございます。



◇幹事報告◇幹事 北原数也

【連絡事項】1. 来年6月26日～30 日に行われる国際大会に出席予定の方は、事務局へご連絡下さい。チラシを閲覧いたします。

【受領文書】ロータリーの友、月信、バギオだより、「諏訪湖の日」電子ガイドブック

【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	30 人	11 人	16, 000 円
出席対象	30 人	前回累計	172,000 円
出席者数	18 人	累計	188,000 円
出席率	60%	目標額	70 万円
前回修正出席率	%	達成率	26.8%



本日はご多用の中、私どものクラブのためにご訪問いただき、誠にありがとうございます。ガバナー補佐から貴重なお話やご指導を頂き、会員一同大変有意義な時間になることと思います。本日は、よろしくお願い致します。

宮澤孝良
山田ガバナー補佐、玉本幹事、お忙しい中でのご訪問に感謝申し上げます。本日は、よろしくお願い致します！

北原数也
本日はお忙しい中、山田文雄ガバナー補佐、玉本広人幹事におかれましては、当クラブにお越しいただきありがとうございます。この一年のご健勝を心から願っております。本日は宜しくお願いします。

小口直久
本日は、山田ガバナー補佐のお話大変楽しみにしております。昨日、つつじが丘の川瀬園長先生、坂本先生含め、20 日のバス旅行についてのお話し合いをさせていただきました。あと10名以上バスの席に空きがございますので、皆様のご参加楽しみにしています。

五味弾
山田ガバナー補佐、玉本幹事様、本日はお忙しい中ご来訪いただきありがとうございます。お話楽しみにしております。宜しくお願いします。

宮坂英喜
山田ガバナー補佐、本日はお疲れ様です。この後も、健康には気を付けて頑張ってください。

吉澤邦雄
山田ガバナー補佐、お越しいいただきありがとうございます。

河西達雄
山田ガバナー補佐劇場の舞台を拝見したく出席しました。限られた一年間の職務自ら信じる所のロータリーの思考、行動に御期待申し上げます。



◇委員会報告◇

本日レターボックスに11月18日から22日のセブ訪問のチラシを入れさせていただきました。19、20日は学校訪問や、マクタンRCの例会に参加し、21日は観光組とゴルフ組に分かれる予定です。ぜひ一緒に行きましょう。

(成山国際奉仕委員長)

◇例会内容◇

会長・幹事担当
「山田文雄ガバナー補佐事前訪問例会」



RI会長メッセージAI要約の要約

- 世界を変える「インパクト」は打ち上げ花火のようなすぐ消える様なものではなく何世代も続く良い影響。
- RAC時代に受けたRCの仕打ち：クラブはもっと歓迎的な場所になれるだろうか
- 人々の意識や文化、システムを変え持続性を持たせた事例と私たちの健全なライバルである「最高の自分」を超えること
- あなたが未来に残す永続的でインパクトのある遺産とは何か

RI会長メッセージAI要約 約8分

会員増強の大切さは、インカさん曰く、つまり、ロータリーの会員が増えれば、その「インパクト(長期に及ぶ良い影響)」として、今後も長年にわたり、よいことを起こす強くて効果的なロータリーが築かれる。

ドイツの秘密-1

ドイツのロータリー：日本との違い
：白鳥PG

ドイツ：新会員の選定

クラブは、①やたらな人は入れない②候補者がロータリーへの入会により本当に幸せになれるか、クラブにとって候補者の入会が本当に良いことかを徹底的に調べた上で入会可否を決定する。

ドイツの秘密-2

ドイツのロータリー：日本との違い
：白鳥PG

ドイツ：例会にて。(メイクしたときに気づいた) ビジターの紹介では詳しくビジネスを紹介していた。その後各会員を廻って紹介しながら会員のビジネスと結びつかないか、ビジネスの仲介まで行っていた⇒会員のビジネス向上にも取り組んでいる

本日のまとめ

- 国際ロータリーは、単年度制から戦略計画に基づいた継続性重視に舵を切ったといえる
- 私達は、会員の急減少・クラブの消滅と、大変な時代に差し掛かっている。クラブは一旦小さくすると、加速度的な会員減少が始まる。
- RIはインパクトを実現する方法として、「長期にわたり社会を向上させる事のできる、ロータリーやその会員」を増やしてくれる事としている。
- 私達は、私達の所属するクラブを健全に、元気にするためにドイツのやり方も参考にしたらどうか

例会後に、山田ガバナー補佐と玉本幹事を囲んで、クラブ協議会が開かれ、各委員長が事業について説明しました。

